

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
http://www.prudential.co.jp



Prudential

2017年9月28日

プルデンシャル生命保険株式会社

創業 30 周年を機にコーポレートメッセージを策定

～初のテレビ番組提供とCM放映～

プルデンシャル生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 一谷 昇一郎)は、本年10月14日に創業30周年を迎えるにあたり、コーポレートメッセージとして「愛をお預かりする、愛をお届けする。」を策定しました。

当社はライフプランナーによるコンサルティングセールスという独自のビジネスモデルで、死亡保障を中心としたオーダーメイドの生命保険を提供してまいりました。昨今、業界全体の保有契約高が減少傾向にある中、おかげさまで多くのお客さまのご支持をいただき、当社の保有契約高は28期連続で増加いたしました。また外部調査機関の顧客満足度調査でも2部門でナンバーワンの評価(※)をいただいております。

このたび、創業から大切にしてきた価値観をコーポレートメッセージという形で表現し、これまで当社をご愛顧・ご支援くださった方々への感謝、そして今後も質の高いサービスを提供し続けていく決意をお伝えしていくこととしました。

※J.D. パワー「2016-2017年生命保険保全手続満足度調査」、「2015-2017年生命保険金請求対応満足度調査」出典：J.D. パワー アジア・パシフィックの2017年調査より詳しくはjapanjdpower.comへ

◆ コーポレートメッセージに込めた想いについて

愛をお預かりする、愛をお届けする。



大切な方を想う気持ちを死亡保障という形でお預かりする。保険契約に込められた想いは、いつかお客さまのご家族のもとにお返す前提にあると考え、当社は社内でご契約は「獲得する」ものではなく「お預かりする」ものと語り継いできました。そして、万一の時には単に保険金を「お支払いする」のではなく、愛情や想いととも「お届けする」という文化を大切にしてきました。そんな生命保険のご加入から保険金のお支払いまでの、当社の変わらぬ姿勢をコーポレートメッセージとして表現いたしました。

◆ 初のテレビ番組提供とCM放映

当社はライフプランナーとお客さまの直接のコミュニケーションを最も重要視しており、これまで販売促進や商品宣伝を目的とした広告を行わず、企業ブランド広告等も機会を絞って実施してまいりました。しかしながら30周年の節目にコーポレートメッセージに込めた想いを継続してお伝えするため、初のテレビ番組提供を行い、CMを放映いたします。

(1)CM 企画意図：さまざまな年代、家族構成の方の大切な方への愛情を、それぞれが日常に愛する対象へ向ける目線を通して描いています。一本の CM 制作にかかる撮影時間としては異例の 35 時間の映像から、身近な家族にだけ見せる愛情あふれる瞬間を厳選しオムニバス形式で編集いたしました。ご覧になった方が、いずれかのシーンに共感できる「愛」を見つけていただくことで、ライフプランナーおよび当社がその愛をお預かりし、大切な方へお届けする存在であることをお伝えしたいと考えております。

なお音楽には、このたび当社がオリジナルで制作した楽曲を使用し、アーティストの奇妙礼太郎氏に歌をご担当いただいています。

(2)放映媒体・放映期間：

【テレビ CM】①ボクらの時代 フジテレビ系列 日曜 7:00- (2017 年 10 月 1 日～)

②スポーツ LIFE HERO's フジテレビ系列 土曜 24:35- 日曜 23:15- (2017 年 10 月 1 日～)

◆ ホームページに 30 周年記念サイトを開設

創業からの 30 年を振り返り、自社の存在意義と生命保険の大切さを伝えるエピソードを社内公募。100 を超える作品の中から、社員投票で選ばれた 9 篇を「真のクオリティにこだわったエピソード」と名づけて、30 周年記念サイトに掲載しております。うち 1 篇についてはエピソードの元となった社員本人に加え、同僚と社員家族が他の配役を務め映像制作し、公開しております。

記念サイトURL：<http://www.prudential.co.jp/30th>



(「真のクオリティにこだわったエピソード」より)

1987 年にわずか 15 名で創業した当社はおかげさまで 5,500 名の社員数を超える規模にまで成長することができました。この 30 年間、ご家族への愛と責任を、当社に保障という形でお預けいただきましたお客さまに感謝申し上げますとともに、今後もお客さまにご満足いただけるよう最高のサービスを提供してまいります。

以上